

映画の町「はこだて」を目指して

「函館港イルミネーション映画祭」と「はこだてフィルムコミッション」

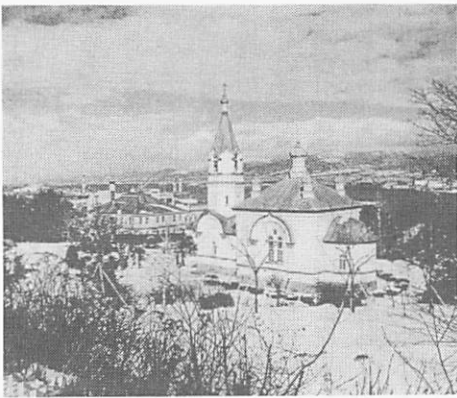
いま全国の地方都市での映画祭がブームになっている。「国際冒険ファンタスティックゆうばり映画祭」「山形国際ドキュメンタリー映画祭」などは知名度が上がっている。

函館は海に囲まれ坂道の多い異国情緒溢れる風景に恵まれ、映画やテレビのロケ地として数多く取り上げられてきた。映画祭関係の事業としては一九九四年、ミュージシャンの「あがた森魚」氏が監督で函館をロケ地に選んだ映画「オートバイ少女」の上映イベントを切っ掛けに一つの映画祭が生れている。

あがた氏の中学時代の思い出の場所である函館山の山頂での映画祭にちなんで「函館山ロープウェイ映画祭」と名付けられた。第一回は矢口史靖監督の「裸足のピクニック」と篠原哲雄監督の「草上の仕事」の二作が上映された。矢口監

督はその後「ウォーターボーイズ」を、篠原監督は「命」を監督するなど、日本映画を代表する程の監督になった。

映画祭は、九四年にもう一度開催、その後は毎年開催しており、二〇〇三年の今年で一〇回目を数える。この間その時どきの日本映画の話題作をはじめ、かつて函館でロケの行なわれた作品を上映するなど、毎年三日間の会期に、かなりの数の映画が上映されてきた。



チャチャ登り上からのハリストス正教会

キャッチフレーズとして「若き才能との出会い」と謳っているように、若い映画の作り手の作品を紹介することを特に重視してきた。毎年注目の映画監督や俳優の方に来てもらい、地元の観客との交流もはかっている。

九五年からは全国から映画シナリオを募集して「シナリオ大賞」を選定し、既に函館ロケが主体の「オー・ド・ヴィ」「パコダテ人」の二本の映画が作られている。今年は昨年の短篇部門の受賞作から新しい映画が生れようとしている。

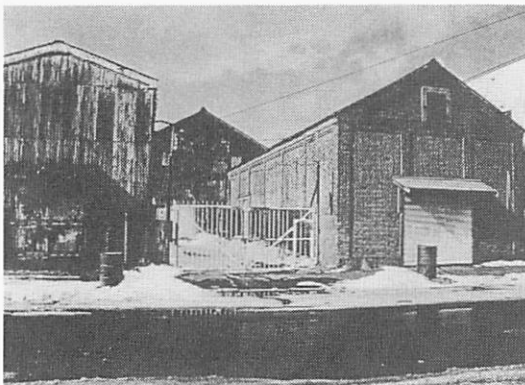
この映画祭は九九年から「函館港イルミネーション映画祭」と名称を改め、北海道、函館市、文化庁などの助成を受けるようになった。

今年「シナリオ大賞」の選考と合わせて「はこだてクリスマスマスファンタジー」に協賛して「映画祭」を開催することになった。会場はロープウェイ山頂駅の函館山クレモナホールで、十二月六日（金）七日（土）八日（日）の三日間。いずれも午前中から数本の作品が上映される予定で、初日の六日（金）夜は「シナリオ大賞」の受賞式も行なわれる。

一方函館市としては映画・テレビ撮影への積極的な協力体制を強化するため、地元経済界と一体となって「はこだてフィルムコミッション」の設立を検討している。その内容としては

- *「函館山」「立待岬」「五稜郭公園」「元町公園」「緑の島ほか港湾施設」などの使用許可と使用料の減免
- *道路や官公庁舎撮影、使用への協力
- *民間所有の「J.R施設」「ロープウェイ」「赤レンガ倉庫群」「朝市」等での場所施設の使用。
- *エキストラの手配、協力
- *その他ロケハン等への協力

今日では映画やテレビやCMのロケ現場に対する人々の関心は高く、観光資源の多い函館にとってロケ地の提供と協力は何よりの集客手段と考えられる。観光都市「はこだて」としては積極的に映画制作受け入れ体制を整備し、優れた映画の舞台として活用されることを目指すべきであろう。



弁天町倉庫群

「摩周丸」改装オープン

旧青函連絡船「摩周丸」は今年四月から函館港若松埠頭に係留され「函館市青函連絡船記念館摩周丸」として装いを新にオープンし、大勢の市民や観光客が船上体験を楽しんでいる。



と午後五時に柔らかな音色のハーモニックホーンが鳴り響き、往時を知る市民の郷愁を誘っている。

ところで、この摩周丸は二代目で初代摩周丸の老朽化のため昭和四十年に就航、八千三百トンで三割スピードアップされ「海峡の女王」と呼ばれた。

その後、空の旅が普及し青函トンネル開通と引き替えに青函連絡船は廃止され、摩周丸は、青函連絡船のメモリアル船として、第三セクター「函館シーボートプラザ」が経営に当たっていたが、売り上げ不振のため函館市が昨年四億円で買取って改修し、この度のオープンとなったものである。海運に縁の深い函館の新しい観光資源として前途を期待したい。

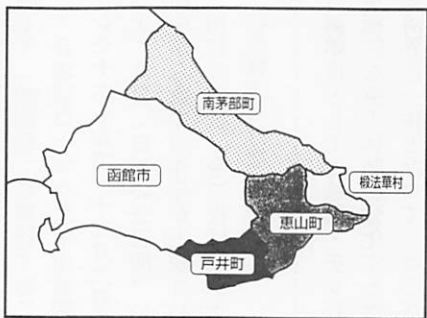
市町村合併「道南」の場合

いま全国の市町村の最大の課題は合併問題であろう。地方自治制度の見直し、人口規模の適正化、財政力の強化による行政経費の効率的運用を図ろうとするものである。

既に全国各地で数多くの市町村合併が実現している反面、合併の諸条件が折り合わず遅れている地区も少なくない。

道南地方で目下検討されている合併の動きは、今年二月に函館市、戸井町、恵山町、榎法華村、南茅部町の五市町村の首長協議が行なわれ、合併についてより具体的な検討を進めることで合意がなさ

れ、市町村合併調査室を設置して調査・研究を進めている。



こうしたなか、去る四月二二日、五市町村の関係部課長で構成する研究部会を設置し、第一回目の会議を開催した。研究部会では、各市町村の一四二三項目に及ぶ事務事業に係わって、仮に合併した場合の調整等について、協議検討を進めている。

同窓会便り

◆関東地区青雲同窓会総会

五月二十四日(土)

新高輪プリンスホテル 一二〇名

◆函館白百合高校同窓会

五月二十五日(日)

品川プリンスホテル 七〇名

◆東京東川会

六月七日(土)

NHK青山荘 八〇名

◆柏野会

六月七日(土)

お茶の水「聚楽」 一〇一名

◆東京常盤会

六月二十八日(土)

青山メトロ会館 三〇名

◆東京函商同窓会総会

七月六日(日)

品川プリンスホテル 一六〇名

◆東京幸小学校同窓会

九月二十七日(土) 午後一時

ベルシーヌ竹芝

◆つじヶ丘同窓会東京支部

十月十一日(土) 午後一時

東海大学校友会館

◆白楊ヶ丘同窓会東京支部総会

十月二十五日(土) 午後六時

ダイヤモンドホール(青山)

◆東京弥生会

十月二十五日(土) 午後三時

日本橋三越

◆函館工業関東支部同窓会

十一月二日(日)

芝弥生会館

◆東京青柳会

十一月二十一日(金) 午後六時

ダイヤモンドホール

◆函館遺愛同窓会

十二月五日(金) 午前十時半

アイビーホール青学会館

十五年度新年総会

一月二十五日(土)午後一時からプレスセンター十階ホールで新年総会を開催。御来賓の井上函館市長をはじめ、一二五名の参加者があつた。

会は福田裕子幹事の司会で、中村副会長の開会挨拶、次いで田沼会長から『本日は一三〇名近い参加者があり、函館からの井上市長他、多くの御来賓の方々の出席に感謝する。昨年は創立四〇周年記念事業としての「ふるさと訪問旅行」及び「記念植樹」を実施し、予定の行事を滞りなく終えた。又、函館市より「函館市制八〇周年記念式典」に招かれ、道南会に感謝状が贈呈されたことにお礼を申し述べたい。

現在、会員の維持、確保、特に若い会員の発掘を課題としてその拡大に努力して来たが、世代交代が進み、会員は約三五〇名である。幸い、各位のご努力により本日も多数の新入会員の出席を見たことは大変喜ばしい事であり、今後共、皆様のご支援とご協力を賜りながら、道南会の発展のために努力して行きたい。

会員相互の親睦をはかるため土曜、日曜に行っている行事を、平日に行うことを今後検討して行く。又、「ふるさと」に對して出来る協力は何かという事を考えに行きたい。日頃は、東京事務所の方

んには多大なご協力を受けている事に敬礼を申し述べる。』との挨拶があつた。

次に、板垣副会長より来賓の紹介があり、来賓を代表して井上市長が次のように祝辞を述べられた。

「会員の皆様の健康な顔を見て大変喜んでいると共に、日頃の、道南会の皆様との協力に感謝する。昨年は、函館市制八〇周年。暗い閉塞感を打破する為何かイベントをとの思いで、ラーメンサミットを実施したが大盛況であつた。今年も実施を検討したい。また、豪華客船での港内遊覧を運航し好評を得た。道南会の皆様には、「ふるさと訪問旅行」の折に「はこだて未来大学」に記念植樹をして頂き、さらに、「ペリー提督」の銅像建立にも多大な協力を頂き大変感謝している。

また、函館市では、金森ビルにウイングホール「北島三郎記念館」を十二月二十三日にオープンした。入場者は一日千人程度を想定。さらには、十二月一日東北新幹線が八戸まで開業した。八戸から函館までは特急スーパー白鳥が接続しており、函館・東京間が六時間を切ることとなり大変便利になった。新幹線の函館までの開通についても、地域をあげての運動を展開している所であるが、皆様との協力をお願いしたい。道南会会員の健

康と、益々の発展を祈念する」

次に、川守田副会長より会務、会計、役員改選等についての報告が行われた。行事は、新年総会・ふるさと訪問旅行、皇居参観をはじめ年間十五回実施、延べ五八二名の参加があつた。今年も久里浜のコスモス鑑賞などを計画したい。会計については、お手元の収支報告書の通りと報告する。役員改選については、現役員全員留任で会の運営に当たりたい旨を語り、承認された。壇上で再任役員の紹介をする。



井上市長をかこんで

続いて、早坂茂三顧問の発声により乾杯し、懇談に移った。早坂顧問は昨年、肺癌の手術、十一月には前立腺癌の手術と大変な年であつたが、幸い、早期発見

で回復した。その体験から日頃より採血、採尿等早期検査が大事であると述べられた。

懇談の中、板垣副会長より新入会員の紹介が行われ、それぞれ自己紹介があつた。

宴たけなわの中、会場では恒例の福引抽選会に移り、盛り沢山の賞品に会場は賑わいを増し、歓声の中で悲喜こもこも顔！顔！顔！

歓談は尽きなかつたが、中締めは沼崎常任幹事の一本締めで、盛会の中今年の総会の幕を閉じた。(葉袋 泰記)

新年総会出席者名

〔来賓〕

- * 函館市長 井上博司
- * 函館市商工観光部長 古川雅章
- * 北海道東京事務所総務課長 佐藤 満
- * サツポビール営業推進部専任部長 手島孝雄
- * 函館をおもう会副会長(大阪) 富士昭一
- * 東京上磯会会長 郷内 繁
- * 北海道ふるさと会連合会 岸本球子

〔参加者〕

青柳隆義、安達昌子、阿部正身、荒木道雄、池上謹之助、石田端、板垣寿見子、市川一彦、今井清、上田航、遠藤宏、大

西孝司、尾田アツ子、加我光徳、笠川雅彦、加藤信利、金子公彦、川守田孝平、川守田礼子、菊池紀邦、北上良夫、木戸正文、帰山武志、小泉文男、小板鉄雄、小谷泰三、後藤亮吉、後藤智子、小林寅雄、小林嘉則、小森良彦、小山慶子、小

山光、斉藤勝美、斉藤祐三、酒井哲美、坂本保子、坂本喜久子、佐々木直、佐々木正子、佐藤洋、沢株正始、沢株尚子、

島田瑞子、神れい子、菅愛子、菅原大作、菅原靖、杉田博子、新谷和子、鈴木勝浩、須藤珠実、瀬田松吉昭、相馬滋、相馬正樹、田辺彩子、田沼修二、田村良人、田村房江、田村治雄、田村保子、千葉幸子、

土橋道子、敦澤義彦、弦巻鋼男、照井陽子、時田厚子、徳田肇、島本玲子、中村崇、中村隆俊、中山泰壽、永井英尚、長島康、納代鉄也、成田きよえ、新山春一、

沼崎貞良、沼崎茂子、濱本欣彌、早坂茂三、早坂貞子、原ヒエ子、広部卓也、福島紀、福田裕子、藤枝良造、古井勝春、古里健三、松浦和彌、松田州平、松前孝

廣、三浦健蔵、三國榮頭、三國比左男、三村寿雄、水戸馨子、葉袋泰、宮本草次、室谷邦雄、矢内喜代、山木和子、山下弘治、山田克明、山田隆、吉田孝、吉田淑

子、渡辺宏司、渡辺多市、若林郁雄、若林英毅、永井紘志、佐々木理夫、寺田耕治、福津達雄、矢作勝幸、金田誠一(代

新入会員紹介

()内は出身小学校

菊池紀邦(千代ヶ岱)

金子公彦さんの紹介

北上良夫(東 川) 郷内 繁(上 磯) 東京上磯会会長

千葉幸子(新 川)

渋谷紗稚子さんの紹介

時田厚子(東 川)

永井紘志(常 盤) 澤株夫人のご兄弟

永井英尚(常 盤) " "

若林郁雄(幸) 澤株さんの紹介

「まつど函館村」

ふる里訪問ツアー

梅田やよい

道南会の室谷名誉会長の働きかけで、一昨年「まつど函館村」が誕生したことは以前この会報にも載りました。

月一回の村会で親しみを増した村民達は開村二周年を記念して、今年五月にふる里函館を訪問しました。総人口三一名中、村民十名と家族や友人を加えた十八名で、五月二十九日羽田を出発、湯の川温泉の「花びしホテル」に二泊三日の旅を楽しみました。

到着後、最初のイベントが末広町の五島軒本店で開かれましたが、これは開村一周年記念行事の学習会にお招きした、松戸にお住まいの朗読家の石上瑠里子さ

んに、函館を舞台にした小説「葦火野」を朗読して戴きました。その時、石上さんから「函館と五島軒を訪ねて見たい」と言われました。この話を丁度その頃、銀座で個展を開催中の函館在住の画家佐渡谷さんに紹介しました。偶然は重なりその時「五島軒類焼」のニュースが伝わりました。三人で「火事にめげず頑張つて」とエールを送りました。

佐渡谷氏を通じて五島軒の若山直社長に交渉して戴くと、メモリアルホール「葦火野」が二〇周年目を迎える記念行事を思案中というタイミングが合致し「五島



五島軒にて

軒文華講座」の第一回の講座として実施されることになり、私たちも参加することが出来た訳です。当日は平日の午後にも拘らず来場者は二二〇名を数えました函館の大勢の方と「まつど函館村」の参加者は、幕末函館の歴史ロマンを聞く感動的な時間を持つことができました。勿論主役の石上さんがご主人を助手として一〇〇%ボランティア精神で快くこの役を受けてくださった事が原動力です。そしてオマケもあります。私がCDを聞いて不思議な音色と癒しの旋律に魅せられていた尺八の奏者、岳人山と偶然知り合う機会に恵まれた矢先、この企画を聞きつけて飛び入りを申し出、石上さんの朗読にはBGMに使用しました。また朗読会後のティタイムに三十分の演奏をしてくれたのです。

数々の偶然と数々の出逢いが重なった今回の素晴らしい旅で、村民の親密度、信頼関係が更に深まったことは言うまでもありません。

「柏野会」発足

長島 康

柏野小学校の関東地区の同窓会が発足した。六月七日(土) 正午から、お茶の水のホテル「聚楽」で創立総会と懇親会が開催され、昭和三年開校以来七十五年目にして初めて誕生した。

来賓として現柏野小学校齋藤孝校長、

田沼道南会長、酒井函館市東京事務所長が出席、参加会員は関東各地から一〇一名に達し、予想を遙かに上回る盛大な会となった。



齊藤校長の挨拶

亀田村湯の川通りに開校したが、周辺の柏の木が密生しており「柏野」はそれに因んで付けられた。現在の松陰町や柏木町の町名は昭和六年に改訂されたものである。校章の三枚の葉は柏の葉で、知・徳・体を表し、中央の星型は五稜郭に因んだものである。



校章



新校舎

会は厚谷襄児氏を議長に、会則を定め役員を選定し、池上謹之助氏が会長に選ばれた。齋藤校長から学校の現状報告と来賓挨拶の後、吉田孝さんの指揮で懐かしの校歌を合唱、タイムスリップして児童に帰った気分を味わった。続いて奥平せい子さんの音頭で乾杯。懇親会は忽ち旧交を暖める歓談で賑った。

ところで柏野小学校は昭和三年四月に

東京東川会

渡辺宏司

昨年発足した東京東川会は今年第二回を迎え、六月七日(土)に表参道の青山荘で、昨年同様八十余名が参加して盛大に開催された。

東川小学校は昨年三月、六十年の歴史を残して閉校となり、四月に大森小学校と併合して「あさひ小学校」になった。

昭和九年の大火で焼失した寶小学校と第二東川小学校が統合して出来た東川小学校は、鉄筋コンクリート三階建ての素晴らしい校舎だったが、昨年十一月に訪ねた時には、すでに校舎は解体され芝生の空き地になっていた。

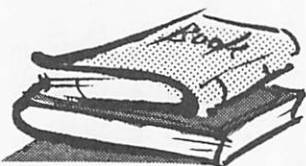
寶小学校は明治十一年、地元の人々の寄付で建てられ、今年は百二十五年目にあたる。この伝統と歴史を「あさひ小学校」に引継がれることを期待したい。

今年も東川小学校の最後の校長で、あさひ小学校の最初の校長に就任している小岩真智子先生が駆け付けてくださり、先生から、現在五稜郭隣にある渡島支庁跡地に中央図書館を作る計画が進められており、渡島支庁跡地の代替地として東川小学校の跡地が検討されているとの事であった。跡地がどのように活用されるにしても、思い出の校舎跡に記念碑を残したいので協力して欲しいとの要請があった。

会は旧交を暖める歓談で賑わい、古い資料や写真も展示され、思い出を新にした。最後に一昨年閉校記念式典で配られた、校章をかたどったラクガンに校章の由来を書いたメモを添えたお土産が配られた。

「東京ふるさと七飯会」総会

平成十五年の「東京ふるさと七飯会」の総会は三月一日(日)正午、上野のふくしま会館で開催された。五十名の会員中二十一名が出席、郷里から高橋伸之収入役も出席され郷里の現況などを報告した。会は創設以来会長を務められた藤谷末松氏の勇退に伴い、役員の変更が行われた。新会長に葉袋泰氏、代表幹事に山下弘治氏が選任され、平成十六年の第十五回記念大会に向けて会の一層の充実を図りたいと挨拶。乾杯に続いて懇談に移り、和気あいあいの語らいが続いた。



『会員プロフィール』

平成十五年の新年号の会報に「会員プロフィール」を掲載、十二名の会員からご自分の生い立ち、経歴、お仕事、趣味やご家族のことなどを紹介して戴き、会員相互の理解と親善に大変役立つております。
夏季号では五十二名の会員から原稿を戴き、そのため今回は会報のページを増やしました。次号以降もこの企画を続けたいと思いますので、ぜひ原稿をお送り下さい。字数を二百字程度に纏めて頂く以外は一切ご自由にお書き下さい。お待ちしております。

浅野増太郎 昭和五年千代ヶ岱小学校、

昭和十年函中卒、級友に室谷前会長がいます。船舶通信士として乗船、戦争中は敵潜水艦に追い廻され、船は沈められたが悪運強く生き延びる。戦後無線会社に就職定年。今は、年金を頼りに老妻と平和に暮しています。曾孫の顔も見たし、あと二年頑張つて米寿迄はと思つているが果たしてどうか。趣味は土・日の競馬、年金で賭事はいけません、反省。

泉 龍夫 昭和一八年函館市帆影町生れ。幸小、船見中、函工機械科卒業後、飲料等の缶を製作するための機械を造る会社に就職。その子会社が函館西浜岸壁の本間鉄工場なので、若い頃から函館に出張し現在でも連日函館弁で業務遂行。休日はウォークとソフトボールに明け暮れ、横浜市金沢区の高五歳以上の部で春季大会で監督兼捕手として三連覇中。今年四月にホームヘルパーの資格を取

得、九月定年後はこの仕事に就く予定。

板垣寿見子 昭和一一年末広町にあり

ました函館証券(株)大坂谷の四女に生れ、青柳小、白百合学園中学、高校から上京、成城短大を卒業。憧れの丸ビルの三菱化成(株)のオフィスレディを三年勤める。独身の頃から道南会に入会。結婚して一女に恵まれ、娘は嫁いでミステリー作家として活動中。十四年前からアリコジャパン(生保)の仕事を始め、生涯現役を目標に飛び回つて。趣味は旅行とマージャンとお料理。目下肥り過ぎが悩み。

梅田やよい 一九四九年に江差町生れ。

江差小学校三年で桔梗小に転校。三ヶ月後、函館に移り千代ヶ岱小、的場中、中部高に通う十年間を過す。父の転勤で苦小牧、千歳と移り住み、七二年結婚と同時に関東の住人に。夫の転勤で、いつの間にか知らない土地で暮すのが喜びに！生

れてこの方二十数回にも及ぶ引越しも家の片付けと思えばこれもまた楽しみ！幼い頃を過した江差や桔梗の事をご存知の方がいらしたら嬉しいナーと、淡い期待を抱いて道南会に入会しました。

遠藤勝利 昭和一八年函館生れ、中島

小学校、中央中学校、函館商業高校を卒業後、昭和三八年に上京。中村製作所(現(株)ナコ)に入社、一貫して営業部門に携わり、昭和六一年常務取締役を経て翌年より(株)イタリアントマト社長(現職)。

平成八年から一三年にはナコム・日活グ

ループの「湯の川観光ホテル」の社長を兼任。七年より函館観光大使として故郷のPRに努める。一人娘は結婚して独立。大田区久が原で妻と二人暮らし。

小田島 弘 昭和八年鶴岡町生れ、大

森小、函中、西高、千葉工大卒。リコー入社、「波乱万丈」「紆余曲折」「驚天動地」「元氣浚刺」「欣喜雀躍」の四一年を経て小田島品質経営研究所を開設する。著書三冊、講演、講義二六〇〇回以上。趣味は料理、野球観戦(函館太洋以来五〇年)、旅行(世界一周、客船航空機で二回)等。家内命名の渾名は「函館大好き人間」。これからは妻雅子と「和気藹々」「悠々閑閑」で過したい。

小山 光(オヤマ アキラ) 昭和六年

函館市生れ、柏野小、市立高、北大水産学部卒業後、日魯漁業に入社し各工場、東京本社に勤務。平成七年に札幌の二チ口畜産(株)社長を最後に定年を迎える。後にパン粉製造販売の(株)共栄フードに入社し現在に至る。日魯時代に単身赴任十六年を経験、またオイルショック後遺症の三回ものリストラの大波を泳ぎ抜ける。趣味は遺愛女子高卒業の妻と旅行、映画、クラシックを楽しむ。娘は結婚して孫二人、息子は独身でこれだけが気掛かり。

笠川雅彦 昭和一三年東川町に生れ、

東川小、旭中、西高に通う。三六年上京深川の町工場に就職、頃は高度成長期にも拘らず、のんびり勤務で何時の間にか定年を迎え平成一〇年に退職。退職後に健康管理のために始めたランニングが病み付きとなり、各地の市民マラソン大会に参加完走が生き甲斐になる。趣味は読書、CD鑑賞、ゴルフ、自作の肴で一杯。母娘と三人暮らし。夢はフルマラソンを完走すること。

唐川 満 一九三〇年奥尻島に生れ小

学校六年まで在島。六四年築地に税理士事務所を開業、納税者の立場で権力と争ってきたと自負。東京奥尻人会を三〇年前に設立、本年二月に会長を退き名誉会長となる。税理士会の役員を二六年間務めたが、これから二年間も同様ボランティア

イア活動となるが、納税者と税理士の紛議事案を調停する部署の委員長、調停を希望する方はご連絡下さい。奥尻も災害から一〇年、立派に立ち直りました。

川守田孝平 昭和十四年函館弥生尋常小学校に入学、函館商業学校に進む。ゲートルを巻いての通学を四ヶ月半続けて終戦となり平和な青春時代を迎えた。札幌に行きたいというだけの単純な動機で就職した(株)合同容器に段ボール箱一筋四七年間勤め、五年前に退職した。趣味の登山にますます嵌まり込み、これが仕事かと思う位一所懸命に山を歩き続け、生涯七〇〇座の頂を目指している。

川守田礼子 函館の時任町で六人兄妹の五番目として生れ、千代ヶ岱小学校に入学しました。子供のころ親に内緒で砂山を越えて大森浜に行った記憶がありません。とてもとても大きな砂山でした。五月に函館に行った時、兄妹で湯の川の漁火館に泊り砂山が話題になりました。主人の転勤であちらこちらと歩き、東京には二六年になります。趣味は登山と洋裁、ミシンと向き合う毎日です。

木戸正文 昭和二年長万部町生れ、教師の親に伴われ大野、知内、森、砂原、木古内、松前、上磯と異動。大野町の島川小、大野中、中部高、中央大と進む。

現在、泰東製綱(株)で人事、総務を担当。住まいは江戸川べりの流山市、休日はサイクリングで汗を流す。近藤勇や土方歳三が歩いたであろう道を走り回っている。ご縁があって道南会に参加、素晴らしい先輩諸氏と出会い「なにかのご縁」を大切にしたいと考えています。

小泉文男 宗谷本線の音威子府(オトイネツプ)に生れ、樺太に渡り小学四年で終戦。昭和二二年に函館に引き揚げ、小、中、高の七年間を函館で過ごし東京の大学に進学。銀行に就職、貸付、外国為替などを担当。定年退職後、航空空社子会社から最後は自動車部品メーカーに勤め、昨年六月サラリーマン生活を終える。趣味は船での沖釣り、今年一月に二・五キロの真鯛を釣った。子供三人は独立、夫婦二人で海外旅行を楽しんでいる。

小林嘉則 昭和一七年、満州・吉林省生れ。昭和二四年東川小学校入学時より函館に居住。的場中、中部高、政法大学に進み卒業後、東宝テレビ室でTV映画「青春とは何だ」で助監督になり、その後フリーの演出助手としてTBS「七人の刑事」を担当、映画では小林正樹、長谷部安春監督に師事するが、事情により三船プロを最後に退職。最近是小中高の同窓会活動の傍ら、函館を思う人達との交流を楽しんでいる。現在、富士製版印

刷株式会社代表。

小宮山恵三郎 昭和九年帯広生れ、小学校三年の時、七飯に疎開、七重小を卒業、中学・高校(函館中部)と六年間、自動車通。東京して大学卒業後、博報堂(広告会社)に入り営業、媒体、マーケティング等を歴任する。昭和五三年、三上佑先輩の薦めで道南会入会、多くの方々と交わる。趣味は古書展、美術展巡り。茨城大学に奉職その後も四大学で教壇に立つ(専攻は広告論、メディア論)。

小森良彦 昭和四年樺太真岡に生れ、親父の代から道南会員。二代目さんの少ないのが残念。小学校は殆ど東京銀座育ち、函館市中(東高)を七年かけて(二年間樺太)卒業。某大経済学部は出たが、お前は不経済学士だと言われ、以後調理に関係して五〇年。男子三人は自立、夫婦二人暮らし。趣味はと聞かれ、お茶、お花、お香に小唄。毎日楽しんでるのはお酒ですと答えたら、酒と書かれ、今はセスナで上の空。

小山慶子 弥生小、遺愛女子高出身。十七歳、大映に採用され輝く未来を夢見て上京。十九歳、若尾文子・川口浩主演「最高殊勲夫人」に抜擢されるがNG続出、一作目にして乙女の夢は消え……昭和五二年、宝石鑑定士の資格取得「ジ

ユエリー慶」設立、鑑別、デザイン、販売等、二五周年を迎えて奮闘中。人生の節目に「日本縦断ドライブ旅行」五八〇〇キロ達成。ゴルフ、水泳、散策、最近パソコンに悪戦苦闘の日々です。

酒井哲美 東京事務所勤務二年目、道南会の皆様との出会いに感謝。小柄な赤顔の小生は南茅部町川汲の漁師の生れ。小学区制の高校受験のため潮見中三に越境転学し、以来函館人となり西高校卒業後市役所に奉職し現在に至っている。単身生活で皆さんからパワーとエネルギーを体を受けマラソン熟成中の私。函館で家を守る妻は保育園長、札幌で働く一人っ子の長男は独身生活中、家族三人がバラバラで自立心旺盛かな?昭和二四丑。

斎藤祐三 昭和十一年松川町に生れる。廃校となった巴小、中央中をへて函工卒業、住友金属鉱山に入社。赴任地は四国勤務を振り出しに、北見紋別から九州日向まで、全国十一ヶ所を転任。仕事も鉱山開発・工場建設・生産管理・営業・総務人事・不動産事業と多岐に亘り、昨年退職。仕事中常に、土地との共生を motto に過ごしましたが、原点は豊かな山河道南に在りです。今後は趣味の囲碁・弓道・ゴルフに興じながら中部高出身の妻と、故郷を語り、旅を楽しむ。

佐々木理夫 昭和十五年新京生れ、敗戦後満州を流浪して父母の郷里函館へ奇跡的に独りで帰る。中二の時、父が帰函し「父帰る」と函館新聞に報道された。西

高から大学卒業後、三和銀行に就職、脱サラで公認会計士の道へ。現在は表参道で開業。預金保険機構の依頼で瑕疵担保条項の査定などをしています。

志村智雄 弁天で生れるが戦火を逃れて五稜郭へ。戦後は宝町（宝来町）へ。東川小時代から一八歳まで函館、二〇歳から東京に居を構える。来年は還暦を迎えるが故郷忘れ難く、年一回は松風町か

五稜郭の飲み屋に顔を出し、友人達と旧交を温めている。今後も俳優（前進座所属）として生涯を貫く思いですが、今年「銃口」（三浦綾子作）、来年は「天平の豊」（井上靖作）で函館のステージに立つ。将来は北海道文化発展のために手助け出来ればと思っているが……

新谷義克 昭和七年万代町に生れ、附

属小、市中、帯広柏葉高、函館中部高、学区制で西高卒業。早稲田大学法学部卒業、東邦大医学部卒、医師として東京警察病院に一〇年勤務して府中で開業。現在八王子市、函館戸井町、中津川市で特別老人ホームを運営。ロータリー歴二五年、東京地裁鑑定委員など公職多数。スキー、ダイビング、旅行、ゴルフと人生

の壮老期を楽しんでいる。西高つつじヶ丘同窓会東京支部会長。観光大使。

菅原大作 昭和一九年本町生れ。千代ヶ岱小、的場中を経て函館中部高（函中）を三八年に卒業。東京・調布市在住。（財）

東京都予防医学協会広報室に勤務し、研修会や講演会の企画・講師の折衝・運営と広報誌の編集を担当。函中同窓会の白楊ヶ丘同窓会東京支部の総務担当副支部長。趣味は読書、映画鑑賞、ゴルフ。毎年、夏には一家で函館に帰省して、友人とゴルフと飲み会で旧交を暖めている。

菅原 靖 昭和七年、旅籠町に生れ、弥生小学校の新築現場で遊び、短い夏を弁天穴澗の海水浴、冬の愛宕山、弥生坂の橇滑りなど戦中戦後の西部地区での少年期の思い出が強い。西高を経て東京芸大を卒業後、画家として今日に至るが函館へのこだわり強く、気が付けば函館を描くことが一生の仕事になってしまった。今年十月三日から函館丸井店の企画で私の描いてきた仕事を、新函館百景展として開催されることになり張切っています。

杉田博子 昭和八年本町生れ、柏野小から序立立高女へ、共学制度で高二高三と中部高校に学ぶ。昭和三三年、連絡船に乗り東京にお嫁入り以来四五年が過ぎた。子供の中学受験までは二人の子供の教育

だけに専念。子供の中学入学以後は堰を切ったように出歩くようになる。俳人中村汀女に入門、三〇年全国俳人協会会員。合唱団遍歴三〇余年。健康体操歴二五年、おかげさまで元氣一杯。現在白楊ヶ丘同窓会（中部高）東京支部長。

鈴木勝浩 昭和三五年湯の川に生れる。港小、昭和小、亀中、函工（工業化学）を卒業しました。現在勤務している五島軒は中学校の頃、大門で映画を観た後に駅前店のバイセット（パンプキンパイとコーヒー）を食べたのを思い出します。確か一八〇円だったような気がします。

そんな私は今は五島軒の商品を少しでも首都圏のお客様に知ってもらおうと営業しているのは何かの縁なのかも……。これからも頑張ります！

須藤珠美 昭和十七年函館西川町に生れ育つ。東川小、旭中、大谷高校を経て東京の短大に進み、卒業後函館に帰り三八年結婚を機に再び上京。幸福な日々を過ごすのが平成七年に主人に先立たれる。その後道南会に入り毎月の行事を楽しみにしている。趣味は編み物と茶道、また水中ウォーキングをはじめから体調が良くなった。家族は娘二人、娘婿、男の孫が三人と、函館に九〇歳の母が一人で暮らしている。

相馬正樹 函館湾の対岸、大野町生れ（一九二〇年）。函館中学を卒業して、星雲の志を抱いて花の東京に。卒業したら学校に残されて先生になった。戦後その学校が大学になったので、そのまま居直って先生を続け、聞く気もない大学生達を相手に大声をあげて講義をして、半世紀に亘って無駄な時間を過ごしてしま

った。この痛恨の五〇年を懐古して「ゴマメの歯ざしり（第二編）」という「エッセイ集」を書いて鬱憤を晴らしたいと只今鋭意執筆中。

高木晃一 一九三九年八幡町生れ。附属小、中部高、大学は小樽に。東京銀行入行、札幌、本部、ニューヨーク、ジャカルタ、ヒューストン等に勤務。札幌支店長も経験。日本財団国際部長、東京財団常務理事。五七歳で青山学院修士課程終了。訪問した外国の数六一、加齢のため遂に年令が訪問国数を上回った。アメ

リカの四〇州訪問済み、何とか残り一〇州を訪問したい。子供は一姫二太郎で独立済、孫娘二人。趣味は妻はブリッジ、本人はウォーキング程度で運動不足気味。

高橋俊一 昭和六年千代ヶ岱町生れ。中島小四年の時、父の転職で東京へ。二〇年戦災にあい函館に戻り、市立中に転入、同高校卒、拓銀に入行。函館市内、道内、関東地区支店勤務の傍ら函館商科

短大卒。退職後、建設、不動産、ホテル等に勤め会計事務所所属の経営コンサルタントとなる。病気のため七一歳で退職。早稲田大学とNHKのシルクロード関係の講座を受講中。函館には二五年位帰る機会なく、道南会で皆さんのお話を聞いて、懐かしむのみで残念です。

田沼修二 大正末に相生町に生れ曙町で育ち青柳小学校を卒業。函館中学から内地に進学。NHKに就職、プロデューサーとして報道番組の開発を担当、最後はNHKエンタープライズ社長で退職。

この間、東京、大阪、仙台、札幌と転勤が多く、一七歳まで育った函館を唯一の故郷と思ひ定め、道南会での出会いを楽しんでゐる。趣味は映画鑑賞と北国の味を求めての食歩き。子供二人は独立、妻と二人暮らしで一昨年喜寿を迎えた。

土橋道子 一九四二年、本町に生れ育つ。柏野小・千代田小(その間校舎五回変わる)的場中、中部高、短大に進み、その後函館市役所に勤め二五歳で埼玉に嫁ぐ。一男二女を生み育て、夫の両親を看取り、その間少々のボランティア活動と専業主婦一筋。只今は芝居、オペラ・コンサート・古典芸能・旅行・映画等を楽しみ、庭に小さな畑を作り、裂布織を習い、時々サッカー(浦和レッズ)で熱くなる。最近松戸市函館村民となる。

敦澤義彦(ツルサワ ヨシヒコ) 昭和一一年知内村に生れ、函館工高入学、陸上部員、卒業後ライオン油脂(株)入社。四日市合成(株)に出向し十年後川崎工場に復帰、台所洗剤「ママレモン」を生産する。ライオン(株)本社ビルの営繕を担当し平成八年定年退職。現在、厚木市総合福祉センターに勤務中。家族は妻と詩吟を楽しみ、娘は三人の母・長男は全日空に副操縦士で一姫二郎の父。家族仲良くしています。

昭井陽子 大正一二年生れ、父は日魯草創期(堤商会)の社員で、亀田に住み庁立高女に電車通学する旧き佳き時代でした。進学のため上京以来六〇余年、結婚後国立の住民になる。長女の嫁ぎ先の両親が札幌、次女は北大出の医師と結婚北海道の繋がりを感ずります。現在長男一家と暮し、函中卒の医師だった夫の亡きあと六〇歳を過ぎてから調剤薬局へ一三年勤務。退職後はボケ防止と称して合唱ダンス、手芸(押絵)、ストレッチ、ウオーキング、軽登山に励む毎日です。

徳田 肇 大正三年函館郊外、湯の川村生れ。七歳のとき父の転勤で釧路に移住、廳立釧路中二年生の末に父が退官帰郷となって函館中学に転校、学業を卒えて就職。函館税関に入関して十年目に大蔵本省に出向し、十七年後大蔵省税関研

修所、東京・横浜両税関の要職を経て、奇しくも郷里函館の税関長に任ぜられ、昭和四六年春、官歴を終結。財団法人の監事と通関業商社経営役を経て自由の身となる。道南会には室谷邦雄さんのご紹介が始まり、皆様との歓談が楽しみ。

中山泰子(泰誇) 昭和一六年山背泊町(現入船町)に生れ、山背の風、六淵の海水浴、愛宕山で遊び育ち、常盤小、船見中、大妻高校、就職、結婚、返品、そして上京。古きアメヤ横町ガード下で、輸入高級食材卸業をしていた伯母を手伝いながら、スッポンの会社を設立、現在に至っております。会社は上野公園パンダ前一〇分、湯島天神三分。住まいは浅草合羽橋近く、何時も下宿状態です。趣味 食べる(飲む少々)、旅行、最近は温泉巡りをしています。

長島 康 戦前の函館には日魯つ子が多かつた。私もその一人、昭和六年千代ヶ岱町に生れ、杉並町に移住して柏野小から函中を経て仙台に進学。道内に初の製油所をもった北日本石油に就職、その後合併で共同石油へ。管理部門の仕事から最後はプリペイド会社に出向し、カード普及に努めた。退職後は趣味に月一の謡曲、週一の太極拳、月二の水墨画等を下手なりに楽しんでゐる。町田市の健康推進員、時計調査員も引き受けている。

沼崎貞良 一九三二年函館生れ、師範附属小、市立高(東高)より大学卒業後貿易会社に一九九五年まで勤務した。顧みれば高度成長期であり、会社人間ではなく仕事人間として良く働けたと思う。趣味はゴルフと妻との海外旅行、会社時代を含め二ヶ國を訪れた。函館には年に二・三回行くが寂れた函館を憂える。現在道南会幹事としてお役に立てればと思ひ、皆様のご意見をお待ちしている。

西原林之助 大正七年生れ。弥生小、函館中学迄を函館で過ごし、懐かしい限りです。郵政監察局長退官。最後は(株)F M北海道取締役を退職。現在は海の見える熱海で、持病もなく、ゆつくり!のんびりと温泉に毎日入り元気に暮しております。

新山春一 昭和一八年東京三田生れ、父の北大水産学部勤務に伴い二八年に転入、湯の川小、中、東高をへて進学、鎌倉に住み歴史に興味をもつ。先祖が毛利元就に仕えてた多くの書状等が残っており、文献等を参考にしながら整理することをライフワークに思っています。趣味の食歩きは、東高の同期が開いている麻布十番の「はじめ」に通い、函館には年三回くらい訪問し、魚長食品の柳沢勝氏ら同期と親交を深めています。

沼崎貞良 一九三二年函館生れ、師範附属小、市立高(東高)より大学卒業後貿易会社に一九九五年まで勤務した。顧みれば高度成長期であり、会社人間ではなく仕事人間として良く働けたと思う。趣味はゴルフと妻との海外旅行、会社時代を含め二ヶ國を訪れた。函館には年に二・三回行くが寂れた函館を憂える。現在道南会幹事としてお役に立てればと思ひ、皆様のご意見をお待ちしている。

能味壽哉 いつの間にか傘寿を超えて
最古参会員になった。昭和三五年の創立
総会には欠席したが、三七年七月の和田
会長を推戴する大事な臨時総会には出席
した写真が残っている。その後、阿部長
平さん、和田・山下両会長に可愛がられ
日銀在職中、会報の編集の手伝いに精を
出し多くの親しい仲間を得たことは夢忘
れがたい。この間、宝小同窓会東京支部
長、東京函商同窓会の第十代会長も勤め
上げ、細やかな足跡を遺させてもらった。

橋本保雄 昭和六年、時任町に生れ、
昭和三〇年より平成一五年まで日本のホ
テル業界で活躍。今年六月、五〇年に亘
るホテル現業を終了。日本ホスピタリテ
イ推進協議会理事長、(社)日本ホテル
ストラナサービス技能協会会長など業界
団体役員多数のほか、函館大学客員教授、
函館クリスマスファンタジー顧問などに
就任。趣味、菜園、大型オートバイにて
世界、国内各地ツーリング。日々充実し
て余生を社会貢献に邁進中。

早坂茂三 昭和五年函館末広町の産。
東川小学校(昨年廃校)から庁立函館中
学、早稲田政経新聞科卒。在学中は赤旗
を振り逮捕歴三回で留年。やっこさ東
京のローカル紙に拾われ、七年後田中角
栄蔵相秘書官に。以後二三年間、天国と
地獄を体験し、親方病気療養を機に姫君

から退職金ゼロで首切り。浪人暮らし一
八年、テレビ出演、内外の講演で糊口を
しのぎ、単行本一六冊を出版。昨年多重
ガン手術を切り抜け目方九〇キロ、煙草
ぶかぶか、妻、猫四匹と同居。

平野拓夫 昭和五年湯の川に生れ、湯
の川小から函館中学校最終生として卒業、
東京芸術大学卒業後通産省に奉職、グッ
ドデザイン制度を提唱し現在同制度の審
議委員。デザイン事務所を設立運営。東
京芸術大学講師をスタートにデザイン教
育に従事。多摩美術大学名誉教授。中国

政府の要請で中国のデザイン教育を支援
し清華大学名誉教授として東京と北京を
往来。現在金沢美術工芸大学の学長とし
て大学の法人化に取り組んでおります。
趣味 マーじゃん、ゴルフ、ヨット。

福島 紀 昭和二五年松前町に生れる。

小学校は沖川↓磯鎌歌(戸井村)。同
じ戸井村の日新中を経て函館工高へ。現
住所の相模原市には昭和三八年に移住、
北海道よりも神奈川県の方が長くなりま
した。職場は新日鉄に三五年間勤務。定
年後現在は(財)日本溶接技術センター
で現役です。溶接関連業務に携わってか
ら三〇年以上経過しました。趣味は読書、
音楽、パソコン、ダンスなど多趣味です。
今後とも宜しくお願い致します。

松丸秀夫 大正一二年に弥生小学校に
入学。函館中学卒業まで函館にいました。
小学校五年から中学二年頃まで、海に潜
つて貝を取る遊びに熱中していました。
弁天町の旧砲台跡から入船町をへて穴淵
迄と、七重浜から当別までもよく行きま

した。海の底に詳しくなり、洞爺丸台風
の時には新聞の「第一七青函丸はアンカ
ーを引きずって穴淵の岩場に激突沈没」
の記事を見、あそこは一枚岩だからアン
カーは効かないなと思ったりしました。

三浦健蔵 昭和五年三月、東雲町生れ、

函中より予科練。復員して函工、代用教
員を経て大学へ。土木技師になるが数年
後トヨタ入社。スカウトされたBMWで
のノーハウを生かし、昭和六年一年ビジネ
スコンサルティングとして独立。全国の外
資ディーラー、伊藤忠商事、韓国サムス
ングループ他で自動車総合企画・戦略な
どの指導に当る。五〇年代後半から飛行
機、一級小型船舶操縦士に挑戦。還暦を
前に陸海空を制覇する。

三國比左男 昭和五年函館に生れ青柳
町で育ち、大谷幼稚園↓青柳小↓函中か
らW大に進んだが、家庭の事情で中退。
二四年一〇月 日本専売公社函館工場に
入社。三三年東京に転勤、その頃現れた
阿部良平さんに強引に道南会に入れられ
てしまった。それ以来の古い会員。六一

年J.T、平成七年J.T関連会社退職。函
館より内地生活が遥かに長いが、道産子
仲間にも助けられて今日がある。いつまで
もこの人脈を大切にしていきたい。

葉袋 泰(ミナイ ヤスシ) 昭和一
七年、釧路生れ。七重小、七飯中、函商
を卒業総合建設業の東海興業に入社、建
設事務営業に携わり、仙台、甲府、東京
と四〇年勤務して退職。この間、取手市
に住んで二五年、第二の故郷として町内
の世話役をしながら仲間とゴルフを楽し
んでいる。そして一八歳まで育った七飯、

函館は心の故郷であり、道南会、七飯会
での出合いを楽しんでいる。趣味はゴル
フ、野球、スポーツ観戦。子供二人は独
立、妻と二人暮らしで昨年還暦を迎えた。

村山正郎 大正一〇年札幌生れ満八〇

歳。昭和一〇年に父の函館高等水産専門
学校への赴任に伴い函館に移転。姉は庁
立高女、私は函中、弟は柏野小と函館生
活を開始。その後北大に進学、以後地質
調査を天職として現在に至る。港まつり、
立待岬、五稜郭、ハリストス教会、トラ
ピスチヌ修道院、恵山、横津岳、大沼、
駒ヶ岳、函館山遠望など思い出が一杯。
趣味は年甲斐もなくドライブ。

山木和子 函館の鱈淵町に生れ、幸小
から函館高女に進み、学区制により校名

変更、西高校を卒業。函館管林局に十四年間勤務しました。モーレツ社員？の夫を支え、静岡、横浜、釧路など八回の引越しを経験し、その時々のお出合いを大切にしております。気になる体重に緊張感が欠けるのかなと反省しながら、今を大切に大切に、コーラス、手芸、旅とその時間を上手に作っております。

山根 要 大正八年函館、大町に生れ遭愛幼稚園、弥生小、函館商業を卒業。昭和二九年六月に函館の地でデパート信用販売株式会社（現傑ジャックス）の創業に参画し、業容の拡大にともない昭和三年函館を離れ、仙台、札幌、東京と移り住む。現在同社名誉会長、函館には人一倍愛着があり、今でも本社所在地は函館のまま。趣味はスポーツ観戦とカメラ。現在は妻と二人暮らしで、健康維持のためウォーキングを毎日実践。

中国の昆布

田沼修二

長崎、神戸、横浜と共に幕末に開港した函館で育ったが、この四都市には幕末頃から貿易に携わった華僑の人々が構築した立派な関帝廟が残っている。函館の関帝廟は、かつて中華民国の領事館としての威容を保ち、今日では特異な観光名所として訪れる人も多い。

外から窺う以上の立派な建物で、関羽の像を中心に華麗な装飾品が飾られている。相当に金の掛かった構築物で、館員に聞いた話では、函館に来た華僑は、主として北海道特産の昆布を扱って巨万の富を築いたという。

函館から積み出された昆布は北前航路で敦賀に運ばれ、一部は京都や大阪に送られ「塩昆布」に加工され今日でも愛好されている。しかし多くは船で沖繩に運ばれ、中国に密輸出された。もともと中国黄河流域の黄土高原は沃度不足地帯で、流域には風土病としてバセドウ病患者が多く、昆布を粉末にして飲ませると薬効抜群で、昆布は高価に売られ華僑に巨万の富をもたらしたという。

戦時中、中国での昆布の需要に因應するため満鉄の技術陣が北海道の昆布を中国沿岸で栽培する試験に着手し、成功直前に終戦となり涙を呑んだ。しかしこの技術を日本に持ち帰り、三陸沿岸の振興策に成果をあげた。

中国はこの技術を導入し山東半島で昆布の生産に成功、中国内の需要に因えたと、日本向けに安い昆布の佃煮を輸出するに至っている。国産の昆布の生産量は年三万トン程度、中国からの輸入は千五百トン位で、葱や椎茸の轍を踏むことはないかと思われる。それにしても、僅か百五十年前に北海道と山東半島の間で動いた昆布の運命の不思議を思う。

道南地区首都圏連絡協議会

現在首都圏で活動している道南地区に關係する団体は、各市町村毎の「ふるさと会」「小・中・高・大学の同窓会」や道南を基盤としつつ首都圏に支店などを置いている企業など、多数存在していることは疑いないが、その実態は正確には把握されていない。

そこで道南会と東高・西高・中部高の首都圏の同窓会が中心になって世話役を引受け「道南地区首都圏連絡協議会」を発足させた。

発起人八名は次の通り

田沼修二 道南会長 (代表)

中村隆俊 道南会副会長 (東高)

川守田孝平 道南会副会長 (商高)

板垣寿見子 道南会副会長 (白百合)

早坂茂三 政治評論家

二上達也 日本将棋連盟相談役

新谷義克 函館西校東京つじ丘同窓会長

杉田博子 白楊ヶ丘同窓会(中部高)東京支部長

この他オプザーバーとして酒井哲美

函館市東京事務所長も出席。協議会は七月二十九日(火)午後二時から

プレスセンタービル一〇階会議室で開催参加者は五〇名であった。

発起人から趣旨説明のあと各団体毎に会員数、活動情況、情報交換の実情等の

報告があった。続いてこの会の今後の活動方針、組織、連絡体制等を討議し、次回以降の日程等を決めて散会した。

道南会行事報告

平成十五年度前半の行事報告です

☆「新年総会」

一月二十五日(土)午後一時開会
プレスセンターホール(詳細別掲)

☆「新宿御苑」観梅会

二月二十一日(金)午後二時

副都心に近い新宿御苑は春未だしの季節であったが、晴天に恵まれ美しい梅林の下でビールを酌み交わし歓談した。

参加者二十一名



☆「和田堀公園・善福寺川公園」

の桜並木観桜会

四月五日(土)

生憎の大雨で中止。多数の出席希望者があっただけに、残念なことであった。

☆「亀戸」松前桜観桜会

四月二十三日(水)午後二時

亀戸の香取神社門前で中華料理店を営む、松前出身の川畑行夫さんが神社境内に二十数年かけて育てた松前桜を有志で鑑賞した。八重桜は盛りを過ぎていたが平成十年四月に道南会が植樹した桜も順調に育っていたことに感激した。帰途は川畑さんの「香取飯店」で自慢の中華料理を堪能した。

参加者十六名

☆「等々力溪谷」散策

五月二十七日(土)午前十一時三十分

東京都内にある古墳時代から人の住居跡が残っている「等々力溪谷」は都会の中とは思えぬ深山幽谷の趣があり、溪谷を流れる水が冷たい。谷川沿いの遊歩道を進めば「等々力不動」があり行者の滝もあった。溪谷の奥の広場でビールを飲み交わし昼食をとる。

帰路には等々力駅前のお茶店で、昔の函館の思い出話に華が咲いた。

参加者十三名

道南会夏季懇親会

平成十五年の夏季懇親会を次の通り開催いたします。

一、九月六日(土)午後一時

(受付開始十二時三十分)

二、場所 ホテル聚楽(じゅらく)

(お茶の水駅傍)

三、会費 六〇〇〇円

(女性五〇〇〇円)

◎ 八月三〇日までに同封の返信葉

書に記入の上、投函して下さい。



☆「小岩菖蒲園」鑑賞

六月十四日(土)午前十一時

京成電鉄「江戸川駅」の近く、江戸川沿いにある小岩菖蒲園を訪ね、小規模ながら二百種六千株の色とりどりに咲き誇る菖蒲を鑑賞した。梅雨入り直後であったが快晴で、暑い日差しの中、緑の芝生で飲むビールは格別であった。

参加者二十九名

☆「しながわ水族館」見学

七月十四日(月)午前十時

盛夏の中、涼を求めて京浜急行「大森海岸駅」近くの「しながわ水族館」を訪問。普段は子供や孫に誘われる所であるが、今回は大人同志で多数の珍しい魚をゆっくり見学した。場所柄、週末は子供連れで混雑するので今回は平日に計画したため参加者多数であった。

参加者二十八名

「平成十五年度後半の行事予定」

◎「サッポロビール工場」見学

八月九日(土)実施予定

◎道南会夏季懇親会

九月六日(土)実施予定



会報「道南」十五年夏季号

発行 平成十五年八月十一日

発行所 北海道道南会事務局

横浜市鶴見区生麦四一九一

十二八〇三 川守田 気付

印刷所 (株)ソーラン社

中央区日本橋小伝馬町十六八